

新城市地域公共交通会議

平成19年12月26日設置
平成20年 2月26日連携計画策定



概要

新城市では、平成19年12月に地域公共交通会議を設置し、既存のバス路線の維持を基本とする考え方から、より住民にとって利便性が高く、かつ効率的な運行を作り上げるため、「新城市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。この計画に従い、コミュニティバスの実証運行やラッピングバスの導入、共通回数券の創設など、様々な取り組みを展開しています。

○地域公共交通の現況

共通の路線を利用している方や路線沿線の地区住民によって、当該路線をより便利にするため、また、路線存続のための活発な話し合いを行い、運行ルート、時刻、運賃の変更を実施した。今後も引き続き検討していきたい。

○地域公共交通の課題

各路線の乗り継ぎの利便性を向上することは利用者増につながると考えるため、整備に努めたい。

○調査の主な内容

利用者のニーズに即した運行の実現のため、各路線の乗降量調査を実施した。

○地域公共交通総合連携計画の策定

利用者のニーズ把握のため、各路線の乗降量調査や満足度調査を実施した。

ニーズの把握と反映

満足度による評価

調査項目

- ・路線(ルート)満足度
- ・運行時刻の満足度
- ・運行本数の満足度
- ・運転手の満足度

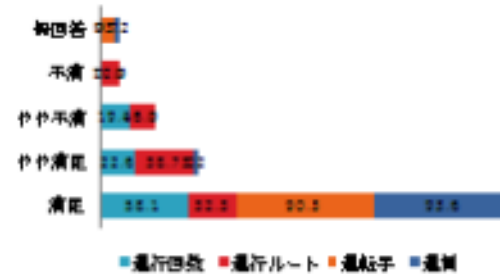
利用者にアンケート

- ・年1回1ヶ月間
- ・同一の質問内容

運行に反映改善

西武線の例

H21年度調査



平成22年度
運行ルート改善